



京都 YWCA

7
2017

YWCAは、キリスト教を基盤に、世界中の女性が言語や文化の壁を越えて力を合わせ、女性の社会参画を進め、人権や健康や環境が守られる平和な世界を実現する国際NGOです。

国連「女性の地位委員会」(CSW)に参加して ～日本 YWCA のユースが今やるべきことって何?～



CSW の目的と任務

今年の3月、日本 YWCA のユース代表としてアメリカはニューヨークにある国際連合で開催された「女性の地位委員会」に参加してきました。

国連女性の地位委員会 (UN Commission on the Status of Women 略称 CSW) は、国連経済社会理事会 (ECOSOC) の機能委員会のひとつで、グローバル政策決定機関としてジェンダー平等と女性の地位向上を専門に取り組んでいます。この CSW の任務は女性の権利分野において早急な対応を要する喫緊 (きっせん) の課題について ECOSOC に提言を行うことです。加盟国代表、国連機関、ECOSOC の協議資格のある NGO 等の関係者が、毎年ニューヨークの国際連合本部の CSW 年次会合に集まります。この年次会合は例年3月半ばに10日間開催され、会期中は年間テーマに沿ったハイレベル円卓会合や対話型専門家パネルが開催されるだけでなく、過去のテーマの進捗状況を確認するための会合、各国政府、国連機関が主催するサイドイベントや NGO 主催の平行イベントがニューヨーク市内で行われます。会議の成果として、年次会合での優先テーマについて討議した結果は、合意結論にまとめられます。



セーフスペースで韓国 YWCA のアドボカシー活動に参加

国際 NGO として活動する YWCA

世界 YWCA はここで NGO の立場から合意結論に影響を及ぼすためにアドボカシー活動 (政策を変えるように直接呼びかける活動) を行いました。また、日本 YWCA としてはこのアドボカシー活動に参加するとともに、初の平行イベントを開催しました。

では、私自身が何をしていたかという、他の NGO の平行イベントに参加したり、世界 YWCA が設置した、CSW に参加する女性、特に若い女性が自由に利用できるセーフスペースで時間を過ごしていました。ここでは、その場で出た全ての発言をきちんと聞き尊重するというルールだけを守り、後はのんびりした空間になっていました。女性の人権向上を目指す場であっても、年上の女性や男性が議論の中心を占め、若い女性の意見が尊重されてこなかったことが背景にあるからです。セーフスペースの存在の意味から日本のユースが CSW に参加する意義が伺い知れると思います。それは、YWCA に繋がっているユースとして日本で自分がやるべきミッションを知り実行することです。

若者を地域の YWCA 活動に巻き込みたい

YWCA の強みはその長い歴史と世代を越えた交流、そしてグローバルなネットワークだと思います。今回世界 YWCA のメンバーと交流する中で会期中の活動を運営しているメンバーのユースの割合の高さに圧倒され、日本 YWCA のユースの少なさに危機感を覚えました。日本 YWCA には様々な人生経験をもつシニア会員が多くいらっしゃいますが、シニア会員の持つ財産を共有できていないのが現状です。これはあまりに勿体ないだけでなく、若者にとっても機会の喪失ではないでしょうか。私は今回の経験を通して、世界に飛び出して知見を広めるにとどまらず、自分が「ユース」として YWCA にできることがあるのではないかと考えるようになりました。グローバルなネットワークに繋がることで逆に自分の足元が見えたのです。今後はこのネットワークを生かし、ユースを巻き込んできた今までの事例を参考にしながら多くのユース、具体的には中高 YWCA の学生を地域 YWCA の活動に巻き込む活動に注力していきたいです。

(奥山りつ)

シリーズ ▶ やっています！こんなこと①



「聖書に親しむ会」

活動の拠って立つところの意味を
一緒に考えませんか？

YWCAの基盤に立つことの意味を共に学びたいと思っている方は多いようです。代償を求めずに働くことで、自分も誇りを持ち、聖書に聞きながら社会に貢献できる働き方を求め、YWCAの進む方向を見定めて行くことと、その目標を理解する努力は大切ではないかと思われま

す。ただ具体的な活動だけでなく、その拠って立つところを共に探り求め、虚無と闘いながら、真実を見出そうというのがYWCAだと言っておられる方もありました。昔に比べ、現代は、信念や信仰など流行らない時代かもしれませんが、しかし物質的欲、権力欲に流される時代だからこそ、様々な深い求めが無意識の内にも人々の中に強くあるのではないのでしょうか。教会に行くのではなく、YWCAに教会の牧師が来てくださるこの機会を上手く捉え、ここに足を運ぶ方が一人でも多くご参加されることを願っております。

(火曜日担当 畠中隆子)

聖書は面白い

音楽、物語、絵画、映画、舞台などの作品に、聖書を題材としたものが多くあることはご存じでしょう。

約2000年前、イエスはガリラヤ地方で宣教活動を行い、エルサレムで十字架での死を遂げました。イエス自身は文章を残していないので、私たちはそれらのことを聖書の福音書を通してのみ知ることができます。けれども、その福音書も私たちのところに来るまでに長い旅をしてきました。この会では、福音書の成立、翻訳、背景などにも目を向けつつイエスからのメッセージを共に汲み取る「読み」を重ねていきます。日頃学生と関わっている入順子さんのお話は、若者の感覚を吹き込んでくださり、毎回新しい発見があり楽しいひとときです。福音書の物語から、私達は現在の社会の中に何を見いだしていくのでしょうか。今年度はヨハネによる福音書を読んでいます。「独特な世界観を持つヨハネ福音書ですが、皆様と共に、そのメッセージを分かち合っていきたいです」(入順子牧師)

聖書の世界がますます広がり、豊かな生活を送っていききたいものです。
(金曜日担当 勝山久仁子)

女性のための平和学「We have 憲法 We have いのち
～憲法を通して子どもの未来を考えませんか～」

社会の流れに不安、疑問、憤りを感じている女性のために、5月12日「女性のための平和学」を開催しました。ゲストは神戸YWCA平和活動部の皆さんです。2012年以来様々な意見を持つ、色々な世代の人達と共に身近な社会問題を考えるために「憲法出前プログラム」を続けておられます。

前半はクイズと紙芝居、後半は改憲草案と現憲法の読み比べをしました。「娘の手紙を無断で開封した父親」「女性であることを理由に雇用しない店主」「新興宗教信奉者であることを理由に職員を昇進させない京都府」。さて、だれが憲法違反をしているでしょう？身近な例をクイズにして、憲法順守を問われるのが公権力であることを学びます。続いて紙芝居を観ながら、政治をする人が憲法を守っているかを私たちが見守る必要があることを確認しました。親しみやすく楽しい素材だからこそ、憲法の存在意義を生活に引き付けて捉えることができました。

憲法の核心を頭に刻んだ後、グループで自由民主党の憲法改正草案と現憲法を音読しました。読みながら、違う箇所、気になるところをチェック、シェアします。草案には「個人」から「家族」への基本単位の変換、「公益」等曖昧な表現の散見、経

済成長の強調が見られます。公権力を縛る憲法という前提が覆され、更に「国防軍」という軍事力の保持・「天皇を戴く国家」という、平和と相反する精神が草案を覆っていることに気が付きました。

音読することで目と耳で憲法と草案の違いを認識すること、そして読む人それぞれが疑問を持ったり、引っかかりを感じたり、気づいたりすることが大切なのだ。「専門家ではない」神戸YWCA平和活動部から教わりました。

不安は「なぜそう感じるのか」を考え、疑問は調べ、それを人と共有することで問題点を露わにできます。その上で次の一歩をどこに向かって踏み出すのかを考えたらよいのです。法律や政治の専門家でない私たちも出来ることがある、そんなエールを頂いた気がします。

(別所加恵)



「女性のための平和学」講座風景

スリフトセール、開催しています!

京都YWCAの「スリフトセール」とは、42年前から続けられているリサイクル・リユースセールのことです。スリフト (thrift) は「節約・倹約」という意味です。寄贈していただいた衣類や雑貨などを、月一回のセールで販売し、その収益をYWCAの活動資金にしています。現在11名のボランティアメンバーが中心になって担っていますが、その中には35年間休まずに活動している方もいらっしゃいます。



ボランティアの人数や品物の保管場所が限られており、寄贈品の受付にもいろいろ条件を付けざるをえない状況ですが、寄贈して下さる方たちが大切にしてこられた品を、大切に引き継いで下さる方に届ける橋渡しができればとの願いを持ってがんばっています。

ボランティアの人数や品物の保管場所が限られており、寄贈品の受付にもいろいろ条件を付けざるをえない状況ですが、寄贈して下さる方たちが大切にしてこられた品を、大切に引き継いで下さる方に届ける橋渡しができればとの願いを持ってがんばっています。

まだスリフトセールに来られたことがない方も、是非一度のぞきにいらしてください。毎月(8月は除く)第3土曜日の11時から14時まで開いています。皆さまのお越しをお待ちしています!

(新海恵子)

あじさいバザール報告

6月3日土曜日、さわやかな好天に恵まれて恒例のあじさいバザールが開催されました。前日には出店する方々が来られたり、ランチや寄贈品、お菓子販売などそれぞれの場所で準備に追われました。当日は約320人の来場者を迎えました。



今回は子どもたちのためのキッズコーナーに加えて、綿菓子の実演販売を行ったり、京都市シルバー人材センターからバルーンアートをする方々に来ていただいたりしました。また働き人も、ボランティア募集に応じて来てくださった学生さん、京都YWCAでのこれまでの活動に参加したことのある方、日本語教室の生徒さん、自立援助ホーム「カルーナ」の女性たちなど様々な人たちが集まりました。働き人も来場者も楽しみながら、バザールの変わらないテーマである「共に生きる世界を」を少しでも実現できていたなら嬉しいです。

東日本大震災以来入場料100円はその支援に使われてきましたが、今回もその支援活動の一部となります。

(篠田茜)

ロビーショップのご案内

本館ロビーの一角に、「COZY SHOP 夏みかん」がリニューアルオープンしました。ショップチームの会員達で考えたYWCAらしい品揃えとなっています。フェア



「COZY SHOP 夏みかん」コーナー

レードの紅茶や「うららかふえ」で人気の東ティモール産のコーヒー、会員お薦めの産地直送の食品、30年以上前から仕入れているお菓子材料や本場の外国産チーズを安価で提供しています。

また、YWCAの庭の夏みかんを活用しての会員手作りのマーマレード、人や環境にやさしいシャンプーや石けん、困難な状況のなかで作られたパレスチナ産のオリーブオイルなど、商品の背景が見える物を扱っています。YWCAでは「Ethical (エシカル) = 倫理的・道徳的な」、「人や環境にやさしく」を意識して活動をしています。そんな考え方を生かした「Cozy (コジー) = 居心地のよい」で京都YWCAらしいお店であり、人々の出会いの場でもあってほしいと思います。

(イエニックふたみ)

動物園で「サラーム」春の交流会

京都YWCA高齢者向け住宅「サラーム」居住者と会員が交流する恒例の春の交流会は、今年は4月15日(土)に京都市動物園で行いました。



京都市動物園にてお弁当をいただく参加者

2015年11月にリニューアルされた動物園

は、さまざまな工夫がされていました。高いところからキリンやシマウマを見下ろせるようになり、見ている人の上をトラが行き交うようになっていました。スロープやエレベーターが備えられているので、高齢者も楽に見て回れます。動物たちには「ミチコ」や「アオイ」など、それぞれ名前がついていて、名札を見ながらどの動物か探したり、「〇〇さんがおる!？」と言って、サルをその方と見比べたり(!)しました。動物園は子どもだけでなく、どの年代にも楽しめる場所だと改めて思いました。途中強い雨が降ることもありましたが、室内で爬虫類を鑑賞できる場所もあったので、楽しく過ごせました。今年は桜の時期が遅く、琵琶湖疎水の散りゆく桜を見ながらお弁当を食べることができました。

(平岩ともり)

今後のプログラム

小学生対象「えいごであそぼう」えいごでクッキング

京都 YWCA 英会話講師と一緒に、お友だちと楽しみながら異文化に触れる体験をしましょう。
■日 時：2017年7月8日(土)・22日(土)《全2回》
 各回 10:30～12:00
■7月のテーマ：「ピザはいくつ？数字とイタリアン・ピザ」
■参加費：2回で6,000円(材料費込み)
■対 象：小学1年～6年生
■定 員：12名程度(先着順)
■持ち物：お手拭タオル、お茶、エプロン、三角巾
■備 考：どちらかの日にクッキングを取り入れ、もう1日はストーリーを楽しみながら英単語やフレーズを学び、2日間子どもたちの中で理解を深められるような内容にしています。

小学生対象「ガジュマルの樹」夏休みデパート

ボランティアリーダーやお友達と一緒に、楽しい夏休みの思い出を作りましょう。
■日 時：2017年8月18日(金)・19日(土)・21日(月)・22日(火)・23日(水)
 全5日間、それぞれ10:00～17:00
■内 容：お出かけ、夏休みの宿題、室内デパートプログラム(多文化理解プログラム、料理など)
■対 象：小学1年～6年生
■参加費：1日参加2,500円、3日参加7,000円、5日全部参加11,000円
■定 員：20名(先着順)
■申込み：要 所定の申込用紙に記入してFaxまたはEmailにてお送りください

ご寄付ありがとうございました。

2017年4月1日から5月31日
 寄付者一覧(敬称略、順不同)

一般寄付

本田次男、深田未来生、森律子、山本光、山本知恵

各指定寄付

*改修募金

有田孝子

*親・子育て支援活動委員会

神戸YWCA 平和活動部、親子ライブラリー有志

*多文化共生委員会

小寺敬子、宮武美知子、
 APT：阿久澤麻理子、本田次男、常光和穂、森律子、神門佐千子、小川洋一、井上依子、日本キリスト教団洛陽教会、飯田奈美子

*ファンドレイジング委員会

安永雅代、山本公平、宮武美知子、池上信子、北村保子、有田孝子、上村愈巳子、(株)田中工務店、(有)テラヲ貨物店、(有)飯室商店、(株)マイチケット、西京都共同購入会、(有)プロジェN、山田松香木店、(株)ティエムエス

*うららかふえ事業委員会

御前明美、宮武美知子、川瀬美枝子、田中弥生、嶋田徳子

*自立援助ホーム「カルーナ」(寄付、後援会費)

竹内二三、堀部碧、御前明美、平尾剛之、岩井一枝、神門佐千子、小寺敬子、宮武美知子、伊藤眞一郎、山上義人

*自立援助ホーム「カルーナ」教育奨励金

竹内二三、御前明美、平尾剛之、伊藤眞一郎

*賛助費

早川久仁子、船山昌代、小室京子、高島照子、廣田康子、森律子、小林聡、大岸素子、清水義、村上ヨシ子

ニューヨークでの国連「女性の地位委員会」(CSW)にて(詳細は本紙1面を参照)



アジアのYWCA ユース仲間と共に



世界YWCAによる本会議前のアドボカシートレーニングにて



CSWの会場に向かう日本YWCA ユース参加者

5・6月/理事会報告

- 3市YWCA合同合宿(7月15～16日)の内容詳細を協議。生涯教育事業部が主に合宿参加者を対象とした京都の歴史と文化を味わう半日ツアーを企画。
- 会則改定案および新会員ハンドブックを今年度中に作成予定。
- 公開講座「共に生きる地域社会づくり～『からだね』の実践からみる、精神障がい者にとっての生きづらさ～」を関西セミナーハウスと共催(6月10日)。
- 自立援助ホーム「カルーナ」の利用者や退所者を対象とし「こことからだの自律支援プログラム」をスタート。
- YWCA オリジナルエプロンを製作し、7月より販売予定。
- 「キャンプカウンセリング」最新版共著者カーラ・ヘンダーソンの京都講演会(6月13日 実行委員会主催)広報協力。
- 同志社大学から実習生を自立援助ホーム「カルーナ」および多言語電話相談 APT に受け入れ。
- 国際ソロプチミスト京都北山のバザーからカルーナ教育奨励基金へご寄付。

KYOTO YWCA No.539

2017年7月号(7月1日発行)

発行人 上村愈巳子
 発行所 公益財団法人京都YWCA
 京都市上京区室町通水上ル
 電話 (075)431-0351 FAX (075)431-0352
 e-mail office@kyoto.ywca.or.jp
 URL http://kyoto.ywca.or.jp
 郵便振替 01080-9-1566
 口座名義 (公財)京都YWCA
 定価 50円